

イベント会場における大規模災害対策マニュアル
——直下型および震度 5 弱以上の地震発生時のために——

1 地震発生時

入口に殺到しないように、その場で頭部を守る姿勢をとるよう指示する。

<緊急地震速報着信時>

「地震が来ます！しゃがんで揺れに備えてください！」

<地震発生時>

「落ち着いて下さい！安全確保！」

「あわてないで、頭に気をつけてください！」

<地震後>

* スタッフは火の元確認

* 揺れがおさまったら、会場出入口の安全確保。

「スタッフが皆様を誘導します。お待ち下さい」

<避難誘導開始>

「一時集合所の本願寺に移動します！」（高齢者、子供連れ）

「広域避難所のあかつき公園に移動します！」（一般客）

2 情報収集と伝達

電池式ラジオ等で情報収集し、電池式拡声器で来場者に伝えて落ち着かせる。

* 防災倉庫に電池式ラジオ・電池式拡声器あり。

3 帰宅支援

- ・ 交通情報（電車、自動車、徒歩）を收拾し、自宅や宿泊ホテルまでの適切な方法での帰宅を促す。
- ・ 主要な交通網に支障をきたす場合は、来街者を広域避難所である「あかつき公園」へ誘導し、待機してもらう。
- ・ **高齢者、子供連れ家族**については、一時集合場所である本願寺へ誘導。
- ・ 京橋築地小学校は、地域住民の拠点なので、安易に誘導しない。

4 資機材の調達

ストレッチャー・発電機・毛布・各種道具類（防災倉庫に配備）

5 火災発生時

- ・ 街頭消火器（駐車場入り口～仮店舗施設前に3基・6丁目南、4丁目各所）、仮店舗施設・振興組合随所に配備してある消火器を使用。
- ・ 火災の規模に応じて、場外市場に3機配備してあるスタンドパイプを使用。

6 ケガ・病人

- ・ 救急箱（防災倉庫→会場に配備）
- ・ 止血にラップを使う等、身の回りのもので適宜に対処、搬送する。
- ・ 場外市場案内所「ぷらっと築地」を応急救護所に変換、手当する。
（マニュアルあり）

<意識を失った人の対処>

- 1 仰向けに寝かせる**
- 2 周囲に協力をたのむ**
- 3 「わかりますか？」と、肩をたたきながら声をかける**
- 4 口内の残存物を吐かせる**
- 5 衣服を緩める**
- 6 左手で額を抑え、右手でアゴを持ち上げ、気道を確保する**
- 7 呼吸を確認。なければ、心臓マッサージ開始**
- 8 AEDを「ぷらっと」か「社教」から運んで蘇生**
- 9 平常時は救急車を呼ぶ**
- 10 救急病院（聖路加）に搬送する場合は、ターレー等を利用**

7 断水時の女性トイレ

仮店舗施設にリセットトイレを準備（400人分用意）